

金融概論

(金融学習地図)

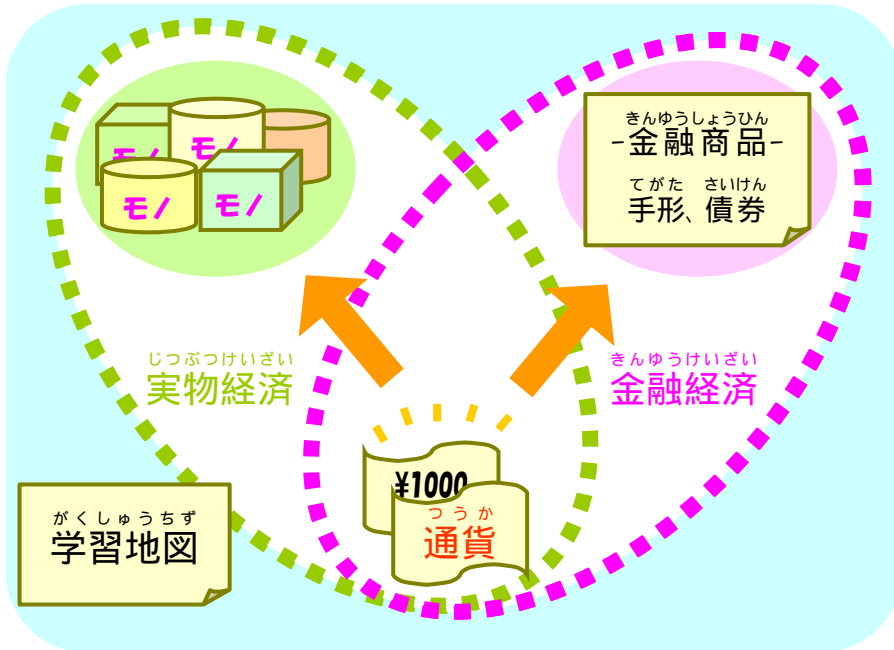
By 有馬秀次

どの科目をどのように学んでいったらよいか...みなさんが迷うことなく金融の旅を満喫できるよう、**学習の道**しるべとしてお読みください。

旅をするのに地図があると便利ですね。金融の世界は、とても広大で奥深いところ。もちろん、地図がなくても金融の世界を旅することは可能です。

けれども、目的地まで最短距離で進みたい、好きなルートを通して有意義な旅を楽しみたい、世界中くまなく探検したい...そう考えたとき、金融の学習にも地図が役立ちます。

それでは、学習地図をご覧ください。



学習地図の見方

この学習地図は、**経済社会**をデフォルメしたもので、著者が考案したオリジナル地図です。

.....地図の形が、「ハート」や「**Vサイン**」に見えませんか？

「ハート」の形は、**経済**や**金融**が自然現象ではなく、人間の活動がもたらす社会現象であることをあらわしています。**経済**や**金融**の活動は、人々がさまざまな選択を行った結果生まれるもので、**わたしたちの心**を象徴しています。

経済や**金融**の活動は、**実物経済**と**金融経済**に分けられます。

実物経済とは、生産と消費の循環活動のことです。モノとお金を交換する**売買取引**として捉えられます。

金融経済とは、お金を融通する活動のことです。**金融商品**とお金を交換する**貸借取引**として捉えられます。

実物経済と**金融経済**は、車の両輪の関係にあります。双方が**協調**したときに、**最適な経済社会**が実現します。これを、「**Vサイン**」(Victory:勝利)であらわしてみました。

この学習地図から、**経済社会**の中で「**金融**がどこの部分を意味するのか」を考えていきましょう。



経済や**金融**を学んで、**幸せでVサイン**

なんていいかもしれませんね！

1. 実物経済の世界

実物経済の世界は、**ミクロ経済学**と**マクロ経済学**に分けられます。

ミクロ経済学

ミクロ経済学は、**価格の役割**の研究です。

経済では、生産物が売れ残りも品不足もなく、最適な**形**で分配されるときに、わたしたちの暮らしが良くなると考えます。

生産物は、市場で**通貨**を介して交換することで分配されます。

市場で、**需要**(生産物を買求めること)と**供給**(生産物を売りに出すこと)の過不足を**価格が調整**し、**均衡**(等しく)させるしくみを**市場メカニズム**と

いいます。
市場メカニズムが働くと、交換活動が円滑に行われ、生産物は**最適な形**で分配されます。

マクロ経済学

マクロ経済学は、**所得のあり方**の研究です。

わたしたちの暮らしを**国全体の視点**で捉えて、**一国の経済の大きさ**をあらわす**GDP**(市場で取引された生産物の合計額)について考えます。

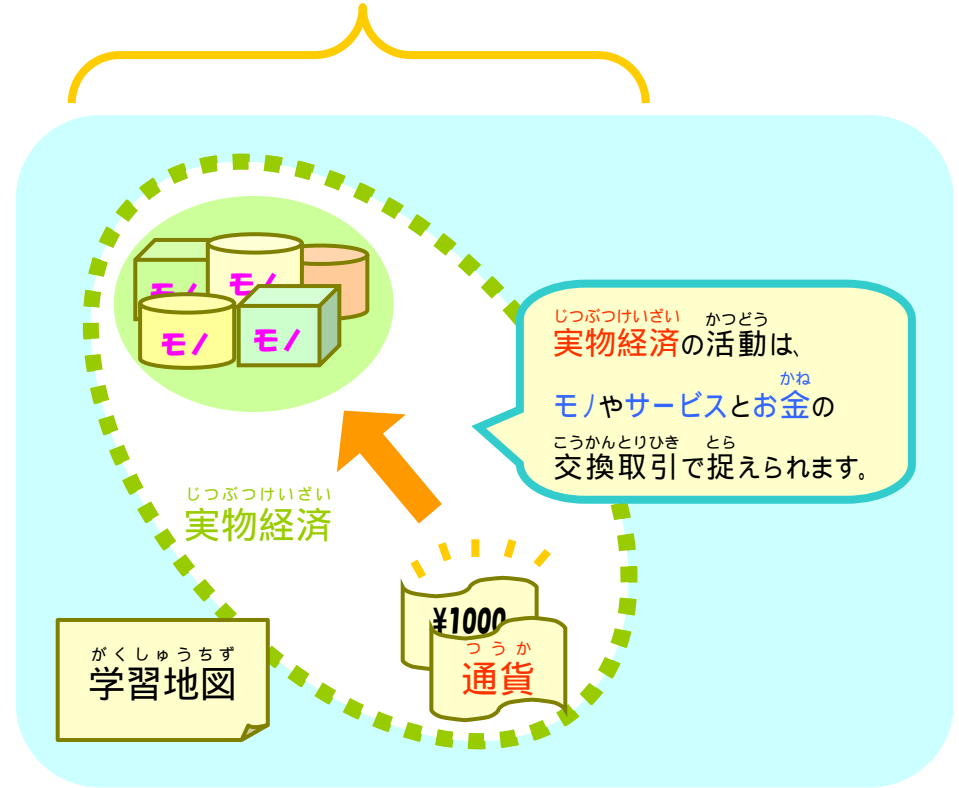
マクロ経済学の課題は、**完全雇用**(働きたい人がみんな働ける)と、**物価の安定**を実現させることです。

経済成長のあるべき姿について、探求します。

ミクロ経済学

価格の役割の研究

交換取引を**個々**の視点で捉える



交換取引を**国全体**の視点で捉える

マクロ経済学

所得のあり方の研究

2. 金融経済の世界

金融経済の世界は、**狭義の金融論**と**広義の金融論**に分けられます。

狭義の金融論

狭義の金融論では、金融を**運用面**から捉えて、**金利の役割**を研究します。金利は、お金の貸し借りの値段を示す指標です。金利を使って、**金融商品価値**を算出します。

金融商品価値は、**リスク**(変動性)と**リターン**(収益性)の関係から求められます。

金融商品とは、市場で取引されている**金融資産**(手形や債券など)のことをいいます。金融商品は、価値が変動する**リスク資産**です。

金融商品は、**現物**と**デリバティブ**に分けられます。現物の価値は、**市場金利**を使って計算します。一方、デリバティブは、**現物の予想変動率**を使って計算します。

金融商品の**現在価値**、**変化率**、**平均値**をもとめる計算は、**金融数理**で学びます。

また、**投資理論**では、金融商品に**分散投資**を行うことで、**リスクを低減**させられることを学びます。



デリバティブは、将来の時点で商品を買取る先物取引、スワップ取引、オプション取引の総称です。

金融は、**狭義ではお金の貸し借り**のことを指します。

お金の貸し借りとは、お金の余っているところからお金の足りないところへ、**お金を融通**することです。

お金の貸し借りの指標 = **金利**

金融経済の活動は、**金融商品**とお金の交換取引で捉えられます。

狭義の金融 = 金融経済
お金の貸し借り

金融商品
手形、債券

運用面から捉えて
金利の役割を研究

金融経済

¥1000
通貨

学習地図

広義の金融論

広義の金融論では、金融を調達面から捉えて、通貨のあり方(わたしたちの暮らしにどのくらいマネーサプライが必要か)を研究します。

お金(預金通貨)は、銀行が預金と貸し出しを連鎖的に繰り返すことで、増えていきます。これを信用創造といいます。

マネタリーベース(日本銀行が供給する通貨)を増やすと、信用創造によって、マネーサプライ(世の中に出まわっているお金の流通量)も増えていきます。

マネタリーベースは信用創造の基礎となるお金で、マネーサプライは信用創造によって生み出されたお金です。

マネーサプライがどのくらい増えるかは、金利の上げ下げで調節できます。金利を上げて物価の安定を優先するか、金利を下げて景気を刺激するかの選択は、金融政策の課題です。

コーポレートファイナンス(企業金融、企業財務ともいう)は、企業価値を高めるために、企業の投資行動の決定と資金調達方法を考える学問です。

投資行動の決定ではポートフォリオ選択論、資金調達方法ではMM理論を基盤にした最適資本構成について学びます。

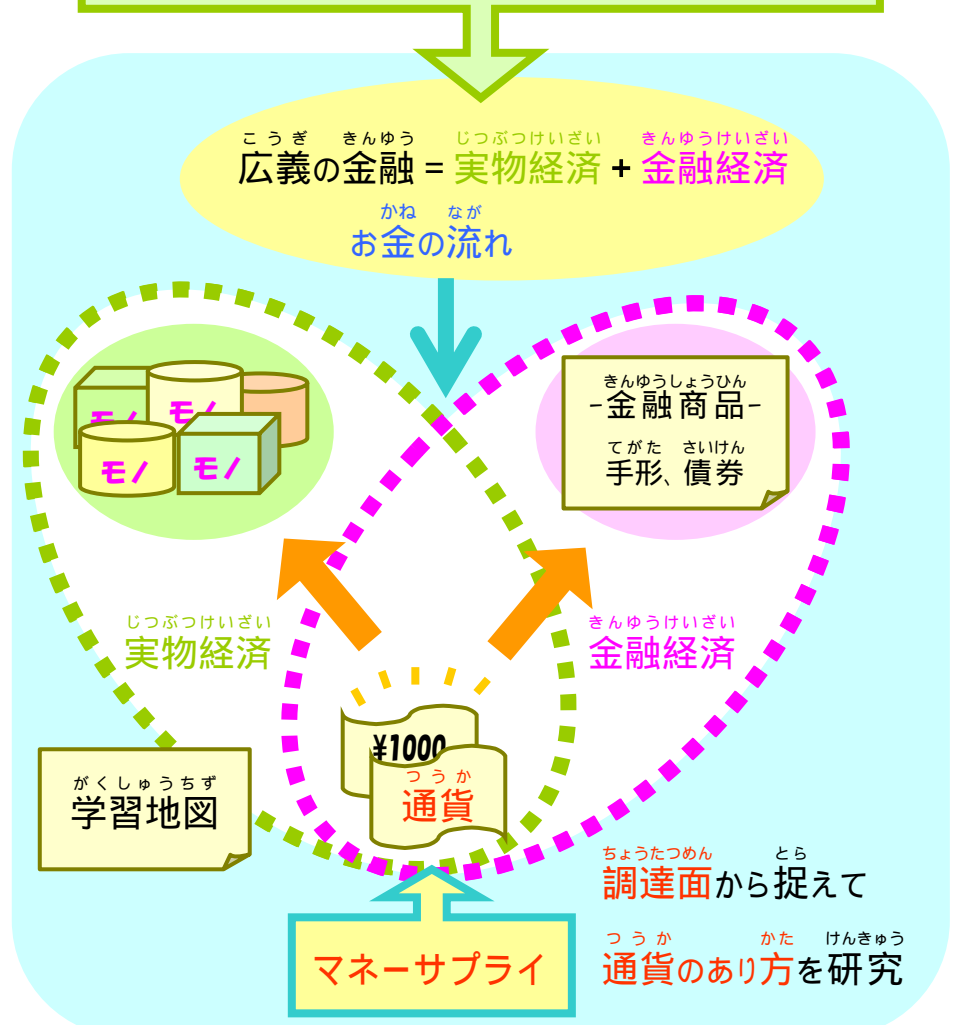
資金調達の方法は、金融の自由化にともなって証券化へと移行し、世界的な金あまり現象をもたらしています。

過剰なマネーサプライは、投機資金としてバブル経済やインフレを引き起こす原因となり、世界経済を不安定にしています。情報開示による国際的な協調が必要ですが、各国の足並みがそろわないところに問題があります。

金融は、広義ではお金の流れのことを指します。

お金の流れとは、お金の貸し借り(金融商品のやりとり)や、モノを売り買いする取引に伴って、お金が移転していくことです。

お金の流れの指標 = マネーサプライ



きんゆう けいざい かんけい
金融と経済の関係

じつぶつけいざい きんゆうけいざい
実物経済と金融経済をあわせたものを**経済**といいます。

けいざい きんゆうしょうひん こうかん こうかん えんかつ
経済は、モノや金融商品を交換するしくみです。この交換を円滑にしているのが**お金**です。

けいざい ぐ
経済とは、「わたしたちの暮らし」のことです。

けいざい うらがわ きんゆう
経済の裏側には、**金融**(**お金の流れ**)の面があります。



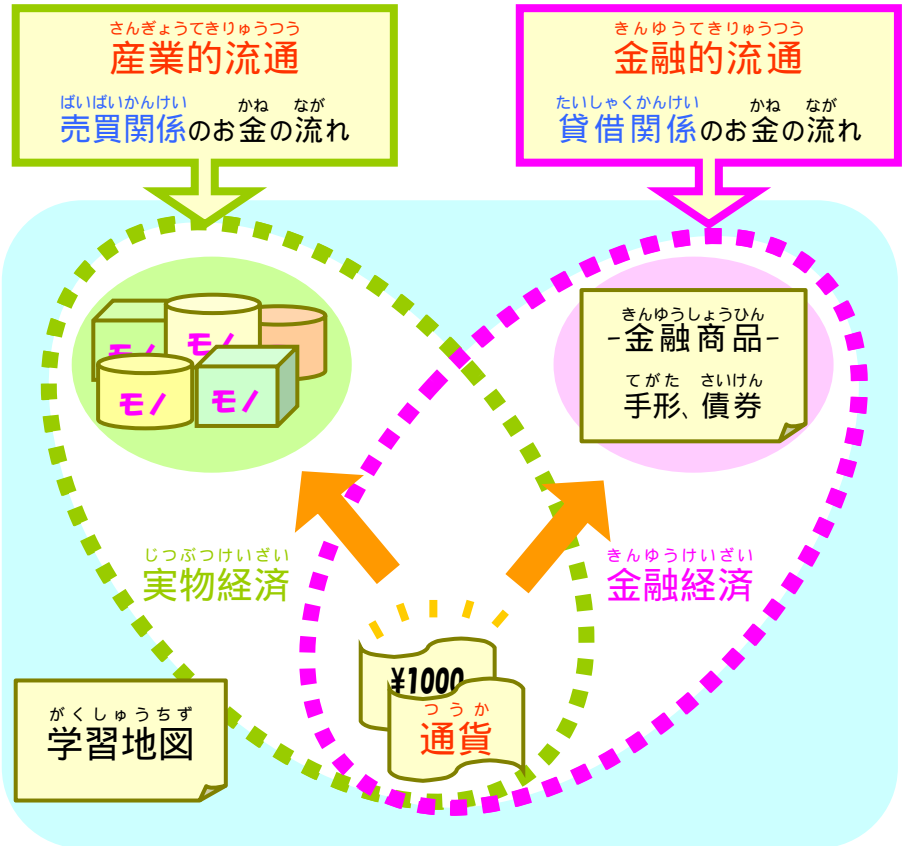
けいざい ぐ きんゆう かね なが
経済(わたしたちの暮らし)と金融(お金の流れ)は、
ひょうりいたい かんけい
表裏一体の関係にあります。

かね なが けいざい とら
したがって、**お金の流れ**から、**経済を捉える**ことができます。経済には、**お金(金融)**は欠かせません。

さんぎょうてきりゅうつう きんゆうてきりゅうつう
産業的流通と金融的流通

じつぶつけいざい さい せいさん しょうひ ともな かね なが さんぎょうてきりゅうつう
実物経済(財やサービスの生産から消費)に伴う**お金の流れ**を**産業的流通**といいます。これは、**売買関係**のお金の流れです。企業と家計の間で財やサービスを売買したとき、**買い手**は財やサービスを受け取り、その**代償**としてお金を支払います。

きんゆうけいざい きんゆうしさん とりひき かね か か ともな かね なが きんゆうてきりゅうつう
金融経済(金融資産の取引(お金の貸し借り))に伴う**お金の流れ**を**金融的流通**といいます。これは、**預金**したり、**株式**や**債券**を購入したり、**銀行**からお金を借りたり...という**貸借関係**のお金の流れです。



きんゆうだいがく
金融大学
こうざ
講座ナビ

をクリックして、
かくこうざ
各講座を
らん
ご覧ください。

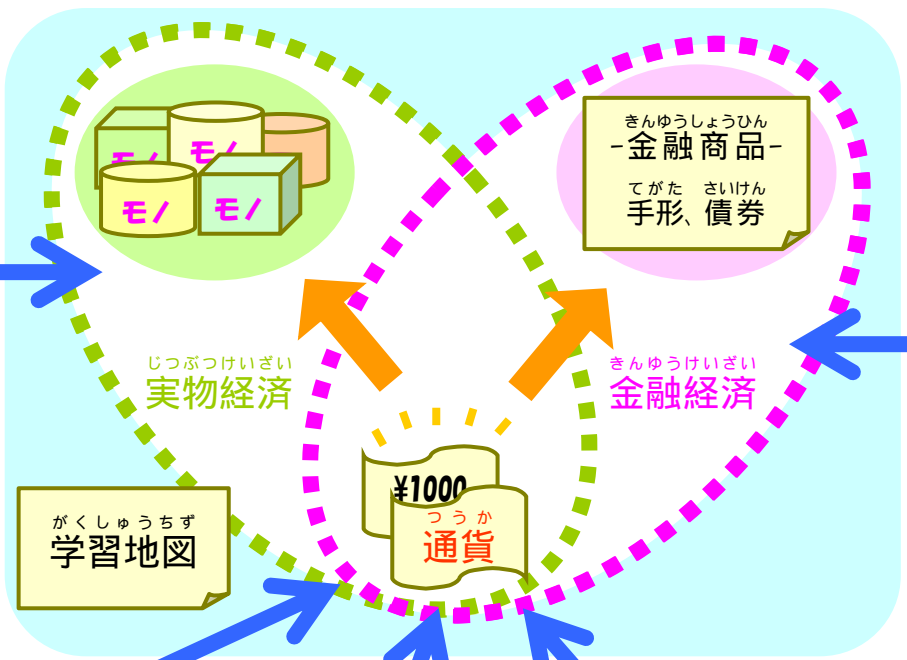
ちょう
▲ **超カンタン!** けいざいがく きんゆうろんにゆうもん
経済学・金融論入門ナビ

けいざいがく
経済学

▲ けいざいがくにゆうもんこうざ
経済学入門講座

▲ ひとりで学ぶ ちょうずかい
超図解マクロ
けいざいがく たちよ だい しょう
経済学(立読み第1章)

▲ IS - LM分析って何?



げんぶつ
現物

▲ けいざいがくにゆうもんこうざ
はじめての金融入門講座

▲ きんゆうとりひきにゆうもんこうざ
金融取引入門講座

▲ さいけんとりひきにゆうもんこうざ
債券取引入門講座

▲ かぶしきとりひきにゆうもんこうざ
株式取引入門講座

▲ がいこくかわせにゆうもんこうざ
外国為替入門講座

デリバティブ

▲ デリバティブ

▲ さきものとりひきにゆうもんこうざ
先物取引入門講座

▲ とりひきこうざ
スワップ取引講座

▲ とりひきにゆうもんこうざ
オプション取引入門講座

▲ デュレーション

▲ ブラック・ショールズ・モデル

▲ クレジットデリバティブ

▲ しんようとりひき
信用取引

きぎょう しきんちょうたつ
企業の資金調達

▲ かいけいがく いっぱ
会計学ははじめの一步

▲ けいさんしょ
キャッシュフロー計算書

▲ ひとり
一人できる

▲ かいしやせつりつ
会社設立マニュアル

▲ じかikaiけいにゆうもんこうざ
時価会計入門講座

マネーサプライ

▲ セキュライゼーション

▲ サブプライムローン

▲ にっぽんばん
日本版401K

けいき
景気

▲ けいき かぶか かんけい
景気と株価の関係

▲ きんゆう
金融ニュースがわかる!?

▲ さいけんしじょう うご
債券市場の動き